

れんけいと支援

地域医療支援病院 富山市民病院



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112(代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> / 発行日 2016年5月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

地域医療部主任部長挨拶

地域医療部主任部長 家城 恭彦



はじめまして。本年4月より地域医療部の担当となりました家城恭彦です。4月に当院に赴任したばかりで、ようやく日常の業務にも少し慣れてきた状態です。あらためて言うまでもなく、地域医療支援病院である当院には、患者さんが適切な医療を適切な場所で受けられるように、地域の医療機関と密接な連携を図っていくことが求められています。そのためには、お互いの敷居を低くし、治療方針を共有することにより、患者さんが安心して治療を継続できる環境を整えることが大切だと思います。

一日も早く先生方のお顔とお名前を覚え、当院の窓口としての役目を果たしていけるよう頑張っていきたいと思っております。どうか宜しくお願い申し上げます。

診療科紹介

呼吸器・血管外科センター

呼吸器・血管外科センターでは、肺・縦隔および胸壁疾患を対象とした呼吸器外科、腹部大動脈・大静脈および四肢末梢血管疾患を対象とした血管外科、甲状腺・副甲状腺および気管疾患を対象とした頸部外科を担当しており、年間300件を超える手術を行っております。スタッフは、いずれも呼吸器外科専門医もしくは心臓血管外科専門医であり、月～金曜日のどの曜日でも両領域の専門医が診察できる体制をとっております。

ブランニュー トピック

Brand-new topic

【呼吸器外科】

胸腔鏡を用いた手術は、創が小さく、また肋骨を切断しないため、痛みが少なく術後の回復が早いなど患者さんにメリットが多いのが特長です。当センターでは、4月から北陸での胸腔鏡下手術のパイオニアである土岐善紀呼吸器外科部長が赴任し、完全胸腔鏡下手術を本格的に導入しました。肺癌や縦隔腫瘍に対して、今まで以上に積極的に胸腔鏡手術を施行し、より低侵襲な呼吸器外科手術を提供いたします。

【血管外科】

静脈疾患への低侵襲治療

下肢静脈瘤治療に血管内治療レーザー装置(ELVeSレーザー1470)を導入し、静脈瘤血管内レーザー焼灼術を実施できるようになりました。手術時間は1時間程度で終了します。また、慢性静脈うっ滞性疾患に対して内視鏡手術を導入し低侵襲化に努めております。

動脈疾患への血管内治療

腹部大動脈瘤に対して血管内治療(ステントグラフト治療)を積極的に実施しております。下肢壊疽症例に対しては、血管内治療とバイパス手術を組み合わせたハイブリッド手術を行っております。

メンバー

今年4月から、瀬川正孝 呼吸器・血管外科センター部長、湖東慶樹 血管外科部長、土岐善紀 呼吸器外科部長、関功二 呼吸器血管外科センター医長の4名体制で診察を行っております。



呼吸器・血管外科センタースタッフ紹介
左から 関甲状腺外科部長、土岐呼吸器外科部長、瀬川呼吸器・血管外科センター長、湖東血管外科部長

◆呼吸器・血管外科 (受付時間 午前 8:30～11:30 午後は、要連絡)

	月	火	水	木	金
午前1診	瀬川	土岐	湖東	瀬川	関
午前2診	湖東	関	瀬川	関	土岐
午前3診		瀬川		湖東	
午後			草島	血管内治療	

平成28年度 富山市民病院 地域連携の会 ご案内

先月号にもご案内いたしましたとおり、6月の地域連携・開放型病床症例検討会は、“富山市民病院 地域連携の会”として開催いたします。地域の先生方と当院の医師との意見交換を身近に行える貴重な機会として、職員一同楽しみにしております。是非ご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

なお準備のため参加申込みが必要となりますのでよろしくお願い申し上げます。参加申込みに関する問い合わせは、ふれあい地域医療センター（TEL076-422-1112内線2989）へご連絡をお願いいたします。

日 時：平成28年6月14日(火) 19:30～

場 所：ANAクラウンプラザホテル富山 3階「ASUKA」

内 容：(1) 講演会 講演内容については、本誌3ページをご覧ください。
(2) 懇親会

会 費：6,000円



1. 地域連携の会 ※申込みが必要です。

日時：6月14日(火) 19:30~21:30

場所：ANAクラウンプラザホテル富山 3階「ASUKA」

1) 講演

(1) 呼吸器外科 最近の話題

呼吸器外科部長 土岐 善紀

(2) 富山市民病院における血管外科治療の新しい取り組み

血管外科部長 湖東 慶樹

2) 懇親会

予告

日時：7月12日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：『腎性貧血の診断と治療』

腎臓内科 大田 聡

2) 症例検討 呼吸器内科・脳神経外科の2例を予定しています。

2. 内科CPC

6月の開催はありません。

3. 糖尿病研究会定例学習会

日時：6月9日(木) 17:45~18:30

場所：看護外来

○テーマ 「糖尿病とは」

○講師 内分泌代謝内科医師 清水 暁子

7. NST学習会

日時：6月27日(月) 18:00~19:15

場所：講堂

○テーマ 「①寝たきりの方への口腔ケア」

「②摂食嚥下評価」

○講師 ①歯科口腔外科医師 高橋 勝雄
 歯科衛生士 吉田 佳織

②脳卒中リハビリテーション看護エキスパートナース
 高橋 けい子

4. 医療機器研修会

日時：6月10日(金) 17:45~18:45

場所：集団指導室

○テーマ 「呼吸療法①体験しながら学ぶ酸素投与方法の基礎と選択基準
 ~経鼻用からリザーバーマスクまで~」

○講師 当院臨床工学技士

8. 富山地域リハビリテーション研修会

日時：6月29日(水) 17:30~19:00(受付17:15~)

場所：講堂

○テーマ 「高齢者の転倒について」

○講師 リハビリテーション科 理学療法士

滝田 正樹

5. 緩和医療委員会 特別講演会

日時：6月20日(月) 18:30~19:30

場所：講堂

○テーマ 「おうちへ帰ろう」

○講師 やまだホームケアクリニック

院長 山田 毅先生

9. 看護研修

《新任看護職員研修》

日時：6月15日(水) 13:00~17:00

場所：講堂

○テーマ 「救急蘇生法」

※定員となり申込みを締め切らせていただきました。

6. 褥瘡対策学習会

日時：6月24日(金) 17:45~18:45

場所：集団指導室

○テーマ 「褥瘡のリスクアセスメントと看護」

○講師 看護師 大島 倫子

《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：6月8日(水) 17:40~18:40

場所：3階会場

○テーマ 「最新呼吸療法のエッセンスシリーズ
 ~ハイフローセラピーの正しい知識と活用方法」

日時：6月22日(水) 17:40~18:40

場所：3階会場

○テーマ 「ケアに活かせる！X線、CTの理解を深める」



病院ボランティア
 篠崎 佳子

院内の 専門職員のご紹介



放射線治療品質管理士とは

放射線治療品質管理機構

放射線治療品質管理士 倉科 崇文

放射線治療の精度向上のため、専ら放射線治療機器やシステムの品質管理・品質保証を行う者として、放射線治療に関連する5つの学会および団体(日本放射線腫瘍学会、日本医学放射線学会、日本医学物理学会、日本放射線技術学会、日本放射線技師会)が放射線治療の安全管理体制確立のために平成16年に創設した放射線治療品質管理機構から認定されています。全国で放射線治療品質管理士の資格を有する数は、901人となりました。

放射線の利用は、ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン博士が1895年にX線の発見したこととキュリー夫妻が1985年に放射性同位元素のラジウムを発見したことが発端になって放射線治療が行われるようになりました。この頃のがんの治療は、抗がん剤の開発および外科手術等が確立されていなかったためほとんど放射線治療でした。その後、医学の発展でがん治療の3本柱は、外

科療法、化学療法そして放射線治療となっていました。

放射線治療は、低侵襲であり患者さんの負担も少ないことから高齢者の患者さんにも適応範囲が広い、また、治療範囲が小さく副作用も少なく外来での治療が容易であるとの利点があります。

近年、がんをピンポイントで治療するいろいろなタイプの高精度の放射線治療装置が開発されました。放射線治療には少なからず正常な組織に対しても影響があります。

また、治療に使用する放射線治療の安全性、放射線治療装置の精度管理、放射線の線量の安定性が必要不可欠になっています。そのため、放射線治療品質管理士は、放射線治療における医療事故防止のための安全管理体制の確立のために努めています。

患者さんがより良い放射線治療を受けられるため日々努力を続けております。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

医師不在のお知らせ ※外来担当日の休診のみ掲載

6月分

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	寺崎	17日	精神科	長谷川	24日
	石浦	17日、21日		伊東	3日
	大田	10日、17日	麻酔科	池田	1日~3日
	蓑内	13日		緩和ケア内科	船木
	清水	10日、24日		桶口	17日
	水野	1日、28日	外科・消化器外科 乳腺外科	泉	9日
	芝	7日、22日		吉川	7日、16日、17日
	山内	13日		寺田	10日、21日
	山田	1日、24日		庄司	1日
	米山	27日~29日	整形外科・関節再建外科	澤口	24日
	島	28日	形成外科	置塩	2日、3日
	米澤	1日、22日	皮膚科	野村	3日
	白石	10日	産婦人科	齋藤	21日~24日、28日
		歯科口腔外科	高橋	9日午前中	

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

編集後記

先月14日、熊本で震度7の地震が起きました。その後の本震や余震で、診療や入院ができなくなった医療機関も多く、当院の医師や看護師らも医療救護班として熊本県へ派遣されました。未だに診療再開の目途が立たない病院もあり、影響が長期化する中で在宅療養している患者の状態把握や医療機関・福祉・行政などの連携が課題になっているようです。

以前に参加した研修で、MSW(医療ソーシャルワーカー)の持つ「聴くスキル」「情報収集能力」「フットワークの良さ」が災害時にこそ役立つと学びました。SW(ソーシャルワーカー)として、日頃からこのスキルを磨き、患者さんや家族の生活をつなぐ支援を丁寧に行っていくことが、地域のみなさまとの信頼関係や災害への備えになると感じています。

ふれあい地域医療センター SW 仙石 佳代



病院ボランティア
篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp